



平成24年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 住友ゴム工業株式会社

コード番号 5110 URL <http://www.srigroup.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 池田 育嗣

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長

(氏名) 河野 隆志

TEL 078-265-3000

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(記載金額は表示単位未満切捨て)

1. 平成24年12月期第3四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	499,961	6.9	43,714	48.8	41,818	58.0	23,020	67.6
23年12月期第3四半期	467,583	10.1	29,370	2.5	26,470	4.6	13,733	△2.2

(注) 包括利益 24年12月期第3四半期 26,189百万円 (336.0%) 23年12月期第3四半期 6,006百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第3四半期	87.75	—
23年12月期第3四半期	52.35	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第3四半期	692,784		238,547			30.8
23年12月期	671,610		222,174			29.4

(参考) 自己資本 24年12月期第3四半期 213,414百万円 23年12月期 197,660百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	—	8.00	—	15.00	23.00
24年12月期	—	10.00	—		
24年12月期(予想)				13.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	705,000	4.2	67,000	24.2	61,000	22.2	32,000	12.7	121.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期3Q	263,043,057 株	23年12月期	263,043,057 株
② 期末自己株式数	24年12月期3Q	709,302 株	23年12月期	707,026 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期3Q	262,334,798 株	23年12月期3Q	262,337,685 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想に関する記述は、当社及び当社グループが現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

なお、上記予想の前提条件その他の関連する事項については、四半期決算短信、【添付資料】P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成24年1月1日～平成24年9月30日)の世界経済は、米国では緩やかな景気回復が見られましたが、欧州の一部の国々における財政に対する根強い不安が世界中に波及し、アジアを中心とする新興諸国においても経済成長が鈍化するなど、世界経済全体に減速感が広がりました。

わが国経済につきましては、個人消費が底堅く推移しましたが、長引く欧州の景気低迷の影響を受けて企業の生産活動が弱含み、さらなる景気の下振れが懸念される状況となりました。

当社グループを取り巻く環境につきましては、東日本大震災の影響で減少していた自動車生産台数が回復してきたことに加え、天然ゴムの相場価格も比較的安定して推移しましたが、国内外の需要は世界経済の減速を反映し、力強さに欠ける状況が続きました。

このような情勢のもと、当社グループは、低燃費タイヤなど高付加価値商品の更なる拡販ならびにグループを挙げての生産性の改善や経費節減など、収益力の向上を目指して様々な対策に取り組みました。

この結果、当社グループの連結売上高は499,961百万円(前年同期比6.9%増)、連結営業利益は43,714百万円(前年同期比48.8%増)、連結経常利益は41,818百万円(前年同期比58.0%増)、連結四半期純利益は23,020百万円(前年同期比67.6%増)と増収増益を達成しました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

(タイヤ事業)

タイヤ事業の売上高は、433,055百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益は38,422百万円(前年同期比40.4%増)となりました。

国内市販用タイヤは、ダンロップブランドでは「ラベリング制度」の「転がり抵抗性能」で最高ランク「AA A」を実現した低燃費タイヤ「エナセーブ・プレミアム」をはじめとする「エナセーブ」シリーズのラインアップを拡充し、グッドイヤーブランドでは新商品「イーグル・L S・E X E(エルエス・エグゼ)」などの高付加価値商品を発売するなど、拡販と販売構成の改善に努めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

国内新車用タイヤは、自動車生産台数が前年同期を大幅に上回り、低燃費タイヤをはじめとする高付加価値商品の拡販を進めたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

海外市販用タイヤは、世界的な景気減速の影響を受けて多くの地域で需要が減少しましたが、生産拠点を有する中国、インドネシア、タイでの拡販に加え、昨年までの販売価格改善の効果もあり、売上高は前年同期を上回りました。

海外新車用タイヤは、中国を中心とした海外での自動車生産の拡大に対応して販売数量を伸ばしたことにより、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、タイヤ事業の売上高は前年同期を上回りました。

(スポーツ事業)

スポーツ事業の売上高は、45,747百万円(前年同期比11.9%増)、営業利益は3,940百万円(前年同期比231.7%増)となりました。

ゴルフ用品市場は、国内においては東日本大震災の後に落ち込んでいた需要の回復が進み、海外においても、主に北米市場が堅調に推移しました。

このようななか、国内市場においては、平成23年12月に発売した主力のゴルフクラブ「ゼクシオ セブン(=7代目ゼクシオ)」やプロ・上級者向けゴルフクラブ新商品「スリクソンZ」が好調に推移し、ゴルフボールでは、飛距離性能を高めた「ゼクシオ L X」を中心に拡販を積極的に進めたことにより、ゴルフクラブ、ゴルフボールともに店頭シェアNo. 1※となりました。

海外市場においては、アジア地域にゴルフクラブ「ゼクシオ セブン」を投入し、中国に上海事務所を新たに設けるなど、事業拡大を図りました。また、欧米においては「クリーブランドゴルフ」のゴルフクラブ新商品や「スリクソン」のゴルフボールの拡販に努めました。

以上の結果、スポーツ事業の売上高は前年同期を上回りました。

※：矢野経済研究所調べ(2012年1～9月の金額シェア)

(産業品他事業)

産業品他事業の売上高は、21,157百万円(前年同期比3.9%増)、営業利益は1,349百万円(前年同期比64.7%増)となりました。

土木・海洋商品やスポーツ施設用人工芝は低調に推移しましたが、建築用の床材や建物の揺れを低減する制振材を増販したことに加えて、医療用ゴム栓も需要の増加により販売を伸ばしました。

以上の結果、産業品他事業の売上高は前年同期を上回りました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期末の総資産は、692,784百万円と前期末に比べて21,173百万円増加しました。たな卸資産等の流動資産が季節要因等により6,631百万円増加し、固定資産は設備投資による有形固定資産の増加等により14,542百万円増加しました。

一方、当第3四半期末の負債合計は、454,237百万円と前期末に比べて4,801百万円増加し、有利子負債残高は、281,198百万円と前期末に比べて6,982百万円増加しました。

また、当第3四半期末の純資産合計は238,547百万円、うち自己資本は213,414百万円、自己資本比率は30.8%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間の業績は、需要の減少などにより売上高が当初計画を下回って推移しておりますので、通期の連結業績予想につきましては、平成24年12月期第2四半期決算発表時（平成24年8月9日）の予想を下記の通り変更しております。

通期（平成24年1月1日～平成24年12月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成24年8月9日）	百万円 715,000	百万円 67,000	百万円 61,000	百万円 32,000	円 銭 121.98
今回修正予想（B）	705,000	67,000	61,000	32,000	121.98
増減額（B－A）	△10,000	－	－	－	－
増減率（％）	△1.4%	－	－	－	－
（ご参考）前期実績	676,903	53,924	49,927	28,386	108.20

上記の予想は、発表日現在において当社及び当社グループが入手可能な情報から得られた判断に基づいており、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。実際の業績は、当社及び当社グループの事業をとりまく様々な要因の変化により、記述されている業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（有形固定資産の減価償却の方法及び耐用年数の変更）

有形固定資産の減価償却の方法については、従来、主として定額法（ただし、当社の本社、名古屋工場及び加古川工場、国内連結子会社等の一部については定率法）によっておりましたが、当社グループのグローバル展開の進展を踏まえ、グループ内の会計処理の統一を図るために、第1四半期連結会計期間より当社の本社、名古屋工場及び加古川工場、国内連結子会社等の一部についても定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益は2,413百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ2,455百万円増加しております。

なお、セグメントに与える影響については、セグメント情報等に記載しております。

また、当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、従来、耐用年数によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ792百万円増加しております。

なお、セグメントに与える影響については、セグメント情報等に記載しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	29,191	31,945
受取手形及び売掛金	150,224	135,737
商品及び製品	68,632	85,774
仕掛品	5,446	5,785
原材料及び貯蔵品	41,444	38,145
その他	32,248	36,169
貸倒引当金	△1,760	△1,500
流動資産合計	325,428	332,059
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	64,455	71,394
機械装置及び運搬具(純額)	94,764	99,711
その他(純額)	73,754	79,501
有形固定資産合計	232,974	250,606
無形固定資産		
のれん	7,312	8,191
その他	10,903	11,830
無形固定資産合計	18,215	20,022
投資その他の資産		
投資有価証券	51,706	48,289
その他	44,426	42,916
貸倒引当金	△1,140	△1,110
投資その他の資産合計	94,992	90,095
固定資産合計	346,182	360,725
資産合計	671,610	692,784
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,422	73,734
1年内償還予定の社債	—	10,000
コマーシャル・ペーパー	—	3,000
短期借入金	97,127	98,426
未払法人税等	5,308	8,553
引当金	6,968	9,820
その他	55,309	49,904
流動負債合計	242,135	253,439
固定負債		
社債	75,000	65,000
長期借入金	97,504	99,704
退職給付引当金	12,148	12,219
その他の引当金	218	158
その他	22,428	23,715
固定負債合計	207,300	200,797
負債合計	449,435	454,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	42,658	42,658
資本剰余金	38,661	38,661
利益剰余金	159,826	176,253
自己株式	△539	△542
株主資本合計	240,605	257,029
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,815	2,761
繰延ヘッジ損益	△29	0
為替換算調整勘定	△29,761	△30,678
在外関係会社の年金債務調整額	△15,970	△15,699
その他の包括利益累計額合計	△42,945	△43,615
少数株主持分	24,514	25,133
純資産合計	222,174	238,547
負債純資産合計	671,610	692,784

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位: 百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年1月1日 至 平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)
売上高	467,583	499,961
売上原価	311,713	323,276
売上総利益	155,870	176,684
販売費及び一般管理費	126,499	132,970
営業利益	29,370	43,714
営業外収益		
受取利息	400	637
受取配当金	187	228
持分法による投資利益	2,544	833
その他	1,378	2,043
営業外収益合計	4,510	3,743
営業外費用		
支払利息	3,513	3,513
為替差損	2,111	35
その他	1,786	2,091
営業外費用合計	7,410	5,639
経常利益	26,470	41,818
特別利益		
補助金収入	—	500
特別利益合計	—	500
特別損失		
固定資産除売却損	542	633
製品自主回収関連損失	—	521
減損損失	93	37
災害による損失	4,615	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	374	—
特別損失合計	5,626	1,192
税金等調整前四半期純利益	20,844	41,125
法人税等	5,037	14,316
少数株主損益調整前四半期純利益	15,806	26,808
少数株主利益	2,072	3,788
四半期純利益	13,733	23,020

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	15,806	26,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,041	△49
繰延ヘッジ損益	17	30
為替換算調整勘定	△7,253	△599
在外関係会社の年金債務調整額	△24	48
持分法適用会社に対する持分相当額	△1,497	△48
その他の包括利益合計	△9,800	△618
四半期包括利益	6,006	26,189
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,464	22,349
少数株主に係る四半期包括利益	1,541	3,840

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	タイヤ (百万円)	スポーツ (百万円)	産業品他 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	406,337	40,880	20,365	467,583	—	467,583
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15	180	46	241	(241)	—
計	406,353	41,061	20,411	467,825	(241)	467,583
セグメント利益	27,360	1,187	819	29,367	3	29,370

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

	報告セグメント			合計 (百万円)	調整額 (注) 1 (百万円)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2 (百万円)
	タイヤ (百万円)	スポーツ (百万円)	産業品他 (百万円)			
売上高						
外部顧客への売上高	433,055	45,747	21,157	499,961	—	499,961
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9	233	44	288	(288)	—
計	433,065	45,981	21,202	500,249	(288)	499,961
セグメント利益	38,422	3,940	1,349	43,711	3	43,714

(注) 1. セグメント利益の調整額3百万円には、セグメント間取引消去等が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(有形固定資産の減価償却の方法の変更)

有形固定資産の減価償却の方法については、従来、主として定額法(ただし、当社の本社、名古屋工場及び加古川工場、国内連結子会社等の一部については定率法)によっておりましたが、当社グループのグローバル展開の進展を踏まえ、グループ内の会計処理の統一を図るために、第1四半期連結会計期間より当社の本社、名古屋工場及び加古川工場、国内連結子会社等の一部についても定額法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、「タイヤ」セグメントで1,954百万円、「スポーツ」セグメントで225百万円、「産業品他」セグメントで232百万円、それぞれ増加しております。

(有形固定資産の耐用年数の変更)

当社及び一部の連結子会社は、第1四半期連結会計期間より、一部の有形固定資産の耐用年数を変更しております。

この変更に伴い、従来の耐用年数によった場合に比べ、当第3四半期連結累計期間のセグメント利益は、「タイヤ」セグメントで762百万円、「スポーツ」セグメントで20百万円、「産業品他」セグメントで8百万円、それぞれ増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。